

喜多浩一

き た こう いち

Vol.36 発行・喜多浩一

金沢市議会議員3期目の集大成の時期を迎え

初めて金沢市議会議員の議席をいただいた平成23年当時を振り返ると、3期12年にわたり市議会議員という職を続けることが出来るとは想像していませんでした。親兄弟や親戚などに政治家はなく、議員秘書などの経験もないサラリーマンであった私が、今なお議員という仕事を続けられているのは、市民の皆様のご指導、ご支援があったからこそです。本当に感謝の気持ちで一杯です。残りわずかとなった3期目の在任期間も市民の皆様のために全力で奮励努力することを誓います。

この4年間を振り返ると、その大半がコロナに悩まされた期間でした。予算の多くをコロナ対策に費やした結果、国も地方も現在、綱渡りの財政運営を強いられています。また、市民生活においても依然としてマスクを手放せない状況にありますし、世界的なインフレ傾向が我が国にも影響を及ぼし始め、あらゆるものが値上がりし生活そのものにも影響が出始めています。本市も国と呼応し、市民の生活を守る対策を打ち続けていますが、まだまだ十分とは言えません。これからは令和5年の新年度に向けての予算編成の時期を迎えますが、市民にとって真に必要な政策を提案し、実行していくことを誓います。ぜひとも皆さんの声をこの喜多浩一に届けていただくことをお願い申し上げます。



この「喜多浩一通信」も36回目の発行となりました。バックナンバーについては下記アドレスにてご覧になれますので、アクセスしていただければ幸いです。

https://kita-koichi.com

(喜多浩一)



議会活動 PHOTO



①新登町商店街(珈琲大作戦) 3年ぶりの開催。物凄い来客数で大盛況でした!



②ランチタイムコンサート 毎月1回、市役所第二本庁舎で開催されています。ぜひお越しください!



③泉八幡神社 秋祭り 獅子舞や太鼓演奏など、大変楽しい時間を過ごさせていただきました。



④市長室訪問 街中のにぎわい創出について、協力団体の方々と市長とで意見交換が行われました。

喜多浩一 プロフィール

昭和45年5月 野町に生まれる
52年3月 藤蔭幼稚園卒
58年3月 森山町小学校卒
61年3月 星稜中学校卒
平成元年3月 金沢泉丘高校卒
9年3月 早稲田大学卒
9年4月 今村証券株式会社入社
23年1月 // 退社
平成23年4月 金沢市議会議員選挙に初当選
27年4月 金沢市議選挙で2期目の当選
31年4月 金沢市議選挙で3期目の当選
令和2年3月 第123代金沢市議会副議長に就任(同年9月退任)
金沢市泉本町に在住
資格 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー
国家試験合格 行政書士・宅地建物取引士
家族 妻、長男(米泉ドジャース→石川中央ボーイズ→金沢泉丘高校野球部)、次男

ご意見などございましたらお気軽に・・・

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1 金沢市役所6F 会派控室 まで



フェイスブックで情報を発信しています。ぜひアクセスをお願いします!

◀ 令和4年9月定例月議会での主な一般質問と答弁の要約 ▶

上水道のインフラの老朽化について

(喜多浩一)

インフラ整備の問題の中でも、特に上水道の整備はその耐震化と相まって、大きな問題の一つとされています。水道管の法定耐用年数は40年となっていますが、その老朽化率と更新費用、更に耐震化率についてお聞かせ願います。

(平嶋公営企業管理者)

本市の水道管 2551 kmの内、法定耐用年数の40年を超える水道管は1169 kmで全体の45.8%であります。耐震化が完了しているのは、2230kmで耐震化率は87.4%であります。更新費用については、本年度は約36億円を計上し対策の強化を図っています。

オンライン教育について

(喜多浩一)

英語や数学などの教科学習などを、金沢市内の全ての学校に一齐にオンラインで行うことは、学びの公平性の担保にもなると考えますが、教育長の見解をお聞かせ願います。

(野口教育長)

オンラインを活用し一齐に学ぶことは、場所や時間、人数などの制約を受けない、新しい学びの一つと考えます。今後はオンラインや対面による授業に加え、それぞれの良さを組み込んだハイブリッド型の授業について研究していきます。

職員の定年延長について

(喜多浩一)

今定例月議会に「職員の定年等に関する条例」などの改正案が提出されていますが、これは、法律の改正により、すべての国家公務員、地方公務員の定年制が見直されるものであります。段階的に定年が65歳になるとのことですが、今回の制度改正の趣旨についてお聞かせ願います。

(村山市長)

職員の定年延長につきましては、国家公務員同様に平均寿命の伸長や少子高齢化の進展を踏まえ、豊富な知識や技術、経験を持つ職員に最大限活躍してもらうために、地方公務員法の改正に伴い定年を引き上げるものであります。

北陸中日新聞 (9月15日号) ▶

遠隔監視やAI 水道管事故防ぐ

金沢市 本年度から

金沢市は本年度から、漏水などの遠隔監視や人工知能(AI)を活用した水道管の劣化予測診断を導入し、水道管の破裂などの事故を未然に防ぐ対策に着手する。十四日の市議会で喜多浩一議員(自民)の一般質問に村山卓市長が答えた。

市内の水道管は、総延長二千五百五十一キロあるが、そのうち45・8%の千六百六十九キロは法定耐用年数四十年を超えている。村山市長は「上下水道など市民の生活に欠かせないインフラの維持は地方自治体の使命。適切な改修や修繕などをし、市民の生活基盤を維持していく」と述べた。

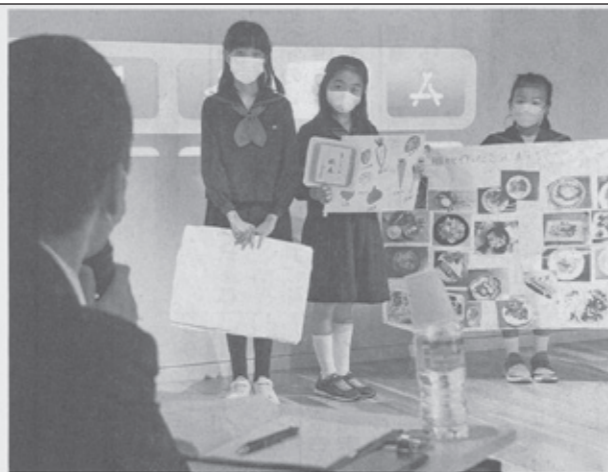
5万円支給事業で 対応予算案を内示 金沢市は十四日、物価高の影響を受ける住民税非課税世帯に対し五万円を支給する国の事業に対応するため、二十七億二千七百万円の一般会計補正予算案を市議会に内示した。九月定例会議最終日の十六日に提出する。

給付対象は、住民税非課税世帯など約五万三千四百世帯。十一月から順次給付を始める。給付金額は二十六億七千万円と事務費六千七百万円を計上した。財源は、全て国庫支出金とする。

北陸中日新聞 (11月5日号) ▶

こっじの魅力 どう伝える

金大付属小生がプレゼン



こっじの販売方法をプレゼンし、四十万谷正和さん(左)から講評を受ける児童たち。＝金沢市野町の金沢未来のまち創造館で

県の伝統食である「こっじ」の良さは、どうすれば伝わるのか。発酵食品を製造販売する「四十萬谷本舗」(金沢市)と協力し、魅力の発信に取り組み金沢大付属小学校同市の四年二組が四日、同市野町の金沢未来のまち創造館で、同社の「こっじ」漬けキットを

使い、各家庭で野菜や肉を漬けて味わった。これまでの知識と経験をもち、児童三十二人は九グループに分かれ、こっじをPRする方法をまとめた。チラシやイメージキャラクターの制作、校内放送を使った宣伝、「こっじ園」の役割を伝える寸劇などを提案。発表を見た社員らから「相手にどんな行動をしてほしいのかを分かりやすく伝えて」といったアドバイスをもらった。

四十萬谷本舗の専務取締役、四十万谷正和さん(左)は「僕らにない発想もあり、一緒にかたちにしていきたくて」と話した。

寸劇を披露した岩本大志君(右)は「もっと見たい」と言ってもらえてうれしかった。塩「こっじ」にサツマイモや魚を漬けるとおいしいから、多くの人に良さを知らせてもらいたい」とやる気を高めていた。

北陸中日新聞 (11月11日号) ▶

苦境の理容業に 光熱費の補助を

県組合 金沢市長に要望



越田理恵所長(左)に要望書を手渡す行野欣也理事長(右から2人目)ら＝金沢市西念で

物価高騰などの影響で厳しい経営状況が続いているとして、県内の理容業者でつくる県理容生活衛生同業組合が十日、組合員への光熱費の補助を求める要望書を村山卓・金沢市長宛てに提出した。組合の行野欣也理事長、田中栄一・金沢支部長らが市保健所を訪ね、越田理恵所長に手渡した。組合に加盟する約五百五十店のうち、金沢支部は二

百十五店。要望書では、新型コロナウイルスの感染拡大で落ち込んだ売り上げが戻りきらないまま、物価高騰が始まったと指摘。感染対策費もかさみ「各店舗の利益は減少の一途をたどっている」と訴えた。県が発行した食事券や全国の旅行割の恩恵についても「理容業には全くない」とした。行野理事長は「値上げしようにも難しい」と吐露。越田所長は「何ができるかわからないが、担当課で知恵を出したい」と述べた。